令和４年度の事業報告書

令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

特定非営利活動法人光量子医学推進機構

１　事業の成果

・CST 事業を実施することで関係者の技術・知識向上に貢献し、ホームページを通じて一般市民への事業の認知拡大に努めた。

・子育て家庭を対象とした食育を兼ねた食材無料配布会や、子どもの居場所づくり事業として学習支援を行い、地域の社会福祉に貢献した。

・ウクライナへの医療物資支援や、ウクライナ避難民に対する健康サポート事業を行い、世界の社会福祉に貢献した。

２　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

事 業 名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額（単位：千円）
① カダバーサージカルトレーニングな ど医療技術向上に関する支援事業	・浜松医科大学で開催されるカダバーサージカルトレーニングの運営補助を行った。	(A) 24 日（10 月～3 月） (B)浜松医科大学解剖学実習室・オンライン (C)62 名	(D)日本国内の医師・研究者 (E)378 人	695
② メディカルデジタルトランスフォーメーション（MDX)等による保健、医療又は福祉の増進を図る活動事業	・ウクライナ避難民を対象に zoom やメールを利用したオンライン健康相談を実施。ホームページ上で情報公開した。	(A)4 カ月 (B)オンライン、事務局および三ヶ日研修施設 (C)11 名	(D)日本国内のウクライナ避難民 (E)2,204 人	3307
③ 医師および医療と介護スタッフの医療技術向上、養成に関する事業	・浜松医科大学で開催されるカダバーサージカルトレーニングの運営補助を行った。	①と同様	-	-
④ 留学生や海外途上国も含む学生や若手医療者の医療教育に関する事業	・ウクライナ、ポルタヴァの病院へ医療物資支援を行った。	(A)令和４年６月～ (B)事務局 (C)5 名	(D)ウクライナ・ポルタヴァ市民 (E)約 28 万人	2059
⑤ 大学、大学院、学会が主催するセミナーまたはトレーニング等の委託業務	・大学院講義（CST）の開催補助を行った。	(A) 3 日（10 月～3 月） (B)浜松医科大学解剖学実習室・オンライン (C)6 名 ①に含まれる	(D)日本国内の医師・研究者 (E)3 人 ※①に含まれる	-

⑥ 光量子技術等の先端技術を活用した医療機器の開発や普及啓蒙に関する支援事業	・ご遺体を用いた医療機器の研究開発の補助を行った。	(A) 7日（10月～3月） (B)浜松医科大学解剖学実習室・オンライン (C)9名 ①に含まれる	－	－
⑦ 光量子技術等の最先端科学技術の医学医療介護への応用を図る活動事業	・ご遺体を用いた医療機器の研究開発の補助を行った。	(A) 7日（10月～3月） (B)浜松医科大学解剖学実習室・オンライン (C)9名 ①に含まれる	－	－
⑧ 保健、医療又は福祉に関する広報、啓発、相談事業	・子育て家庭を対象に、食育を兼ねた食材無料配布会を実施した。 ・小学生～高校生を対象とした子どもの居場所づくり事業(学習支援）を実施した。	(A)食材配布：令和4年6月16日以降3回開催、学習支援：令和4年11月以降10回開催 (B)三ケ日研修施設 (C)9名	(D)子育て家庭 (E) 食材配布：227家庭 学習支援：35人（児童）	602
⑨ 地方公共団体、病院等の教育環境整備に関する事業	・東海国立大学 CST ネットワーク事業の補助を行った。	①に含まれる	－	－
⑩ 地方公共団体、病院等の調査研究に関する事業	・避難民健康相談について浜松国際交流協会（HICE）と定期会議を実施。	②に含まれる	－	－
⑪ 病院職員等の確保を図るための無料職業紹介に関する事業	・研究職ウクライナ人・アフガニスタン避難民の就労支援の相談。	(A)令和4年4月20日 (B)事務局 (C)3名	(D)在日ウクライナ人 (E)1人	－
⑫ その他 この法人の目的を達成するための事業	・本事業年度は、未実施。	－	－	－
		支出合計		6663

(2)　その他の事業

事 業 名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額（単位：千円）
その他の事業	・本事業年度は、未実施	－	－
			0